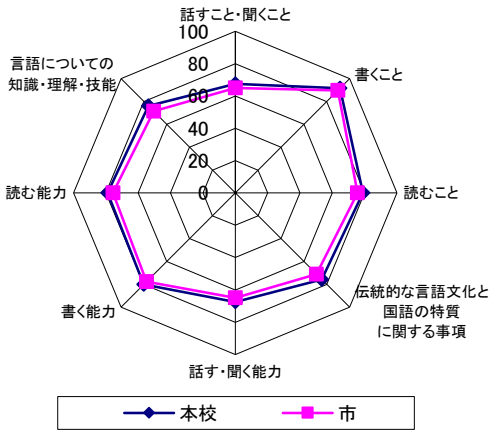
宇都宮市立陽南小学校 第６学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	67.5	64.9	69.8
	書くこと	91.7	89.8	81.9
	読むこと	79.0	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.7	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	67.5	64.9	69.8
	書く能力	80.1	77.7	73.7
	読む能力	79.0	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	76.0	71.4	74.9

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○　正答率は67.5%であり，宇都宮市の平均正答率より2.6ポイント上回っている。「話し手の意図を考えながら，話合いの内容を聞く」は，99%の正答率だった。 ●　「司会者の役割を理解して，計画的に話し合う」は，話合いのテーマに合った発言をするように指摘するつもりで，適切な言葉づかいで書く設問だったが，正答率は14.2%で，市よりは1.7ポイント高いが，全国正答率と比較すると12ポイント近く低い。	・　話し手の意図を考えながら聞くことは，国語科の学習や他教科の発表会などで意識的に取り組んできたが，日常的な話の聞き方として習慣化されるよう，指導を継続していく。 ・　学級会や委員会活動などの場で，話合い活動の充実を図りテーマに沿った話合いができるようにする。また，話合いの場での適切な言葉の使い方を身に付けられるよう，朝の会でのフリートークなどに取り組んでいく。
書くこと	○　正答率は91.7%であり，宇都宮市の平均正答率より1.9ポイント上回っている。記述式の問題で，「指定された長さで書く」「2段落構成で書く」「意見とその理由を区別して書く」が，ねらいであるが，どの項目でも市の平均を上回っている。特に，「指定された長さの文章を書くことができる」は，91.2%と市より4ポイント上回った。	・　根拠を明確にし，説得力のある意見文を書くことについては，6年の国語の学習で力を入れてきたが，他教科や領域でも継続的に指導していく。 ・　自由作文の時間を使って，接続詞を適切に用いて，段落構成を意識した文章の書き方に慣れさせる。
読むこと	○　正答率は79.0%であり，宇都宮市の平均正答率より3.4ポイント上回っている。説明文の内容を読み取るとることは，どの項目も市の平均を3～7ポイント上回っている。 ●　物語文では，場面の描写を読み取る問題で，市の平均を5ポイント近く上回っているが，登場人物の心情を読み取る問題では，市の平均を4ポイント近く下回った。	・　もっと文学的な文章に慣れ親しむことができるよう，日常の読書指導を工夫し，興味関心を高めていきたい。また，登場人物の心情を豊かに読み取る力を伸ばすため，学年で指導法の工夫（学校課題として取り組んでいるユニバーサルデザインの授業）に取り組んでいく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○　正答率は75.7%で，宇都宮市の平均を4.7ポイント上回っている。漢字の読み書きは，ほぼ市の平均を上回っている。また，熟語の構成や敬語の使い方も市の平均を大きく上回っている。 ●　主語や述語の理解は，市の平均を4ポイント近く下回った。	・　漢字スキルと練習帳を使い，自主学習でも進んで漢字練習に取り組む児童が増えてきている。さらにカードを利用し練習の積み重ねや成果が感じ取れるようにして，関心や意欲を高めるくふうをしていく。 ・　主語や述語，修飾語など，文を構成する要素を理解させるために，作文を推敲したり，説明文などの文章を丁寧に読み取ったりする授業を計画していく。